

# LAPIS Semiconductor Errata

---

## ML620Q500 シリーズ

発行日: 2015 年 04 月 21 日

## ご注意

- 1) 本資料の記載内容は改良などのため予告なく変更することがあります。
- 2) ラピスセミコンダクタは常に品質・信頼性の向上に取り組んでおりますが、半導体製品は種々の要因で故障・誤作動する可能性があります。  
万が一、本製品が故障・誤作動した場合であっても、その影響により人身事故、火災損害等が起こらないようご使用機器でのディレーティング、冗長設計、延焼防止、バックアップ、フェイルセーフ等の安全確保をお願いします。定格を超えたご使用や使用上の注意書が守られていない場合、いかなる責任もラピスセミコンダクタは負うものではありません。
- 3) 本資料に記載されております応用回路例やその定数などの情報につきましては、本製品の標準的な動作や使い方を説明するものです。したがって、量産設計をされる場合には、外部諸条件を考慮していただきますようお願いいたします。
- 4) 本資料に記載されております技術情報は、本製品の代表的動作および応用回路例などを示したものであり、それをもって、当該技術情報に関するラピスセミコンダクタまたは第三者の知的財産権その他の権利を許諾するものではありません。したがって、上記技術情報の使用に起因して第三者の権利にかかわる紛争が発生した場合、ラピスセミコンダクタはその責任を負うものではありません。
- 5) 本製品は、一般的な電子機器（AV機器、OA機器、通信機器、家電製品、アミューズメント機器など）および本資料に明示した用途への使用を意図しています。
- 6) 本資料に掲載されております製品は、耐放射線設計はなされていません。
- 7) 本製品を下記のような特に高い信頼性が要求される機器等に使用される際には、ラピスセミコンダクタへ必ずご連絡の上、承諾を得てください。  
・輸送機器（車載、船舶、鉄道など）、幹線用通信機器、交通信号機器、防災・防犯装置、安全確保のための装置、医療機器、サーバー、太陽電池、送電システム
- 8) 本製品を極めて高い信頼性を要求される下記のような機器等には、使用しないでください。  
・航空宇宙機器、原子力制御機器、海底中継機器
- 9) 本資料の記載に従わないために生じたいかなる事故、損害もラピスセミコンダクタはその責任を負うものではありません。
- 10) 本資料に記載されております情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、万が一、当該情報の誤り・誤植に起因する損害がお客様に生じた場合においても、ラピスセミコンダクタはその責任を負うものではありません。
- 11) 本製品のご使用に際しては、RoHS 指令など適用される環境関連法令を遵守の上ご使用ください。お客様がかかる法令を遵守しないことにより生じた損害に関して、ラピスセミコンダクタは一切の責任を負いません。本製品の RoHS 適合性などの詳細につきましては、セールス・オフィスまでお問合せください。
- 12) 本製品および本資料に記載の技術を輸出又は国外へ提供する際には、「外国為替及び外国貿易法」、「米国輸出管理規則」など適用される輸出関連法令を遵守し、それらの定めにしたがって必要な手続を行ってください。
- 13) 本資料の一部または全部をラピスセミコンダクタの許可なく、転載・複写することを堅くお断りします。

Copyright 2015 LAPIS Semiconductor Co., Ltd.

## ラピスセミコンダクタ株式会社

〒222-8575 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-4-8

<http://www.lapis-semi.com>

## 1. はじめに

ML620Q500 シリーズ(ML620Q503/504)の割り込みコントローラの一部に不具合があることが判明しました。つきましては、不具合内容と対策をご報告させていただきます。ML620Q500 シリーズの割り込みコントローラの機能につきましては、ML620Q503/504 ユーザーズマニュアルをご参照ください。

## 2. 不具合内容

### 2.1 不具合(1)

現割り込み要求レベルレジスタ(CILL)をクリアできない場合があります。以降、CILLに残っているレベル以下の割り込みを受け付けなくなります。

発生条件:

- l 「割り込みレベル制御」有効時(割り込みレベル制御イネーブルレジスタ ILENL が"1"の時)
- l ROM 参照命令実行時に、低レベル 高レベルの順で異なるレベルの割り込みが競合して発生した時、あるいは、CILL をクリアする命令の実行とウォッチドッグタイマ割り込み(WDTINT)の受け付けが同時に発生した時

### 2.2 不具合(2)

CPU が処理している割り込みレベルと、現割り込み要求レベルレジスタ(CILL)が保持している割り込みレベルが一致しない場合があります。また、多重割り込み使用時、ノンマスカブル割り込みが競合時に、高レベルの割り込み処理が待たされる場合があります。

発生条件:

- l 「割り込みレベル制御」有効時(割り込みレベル制御イネーブルレジスタ ILENL が"1"の時)
- l ROM 参照命令実行時に、低レベル 高レベルの順で二つの割り込みが競合した時

## 3. 不具合対応策

お客様のすべてのアプリケーションソフトに対してご迷惑のかからない解決策が提案ができないため、恒久対応策による修正が完了するまで「割り込みレベル制御」を無効で使用して下さい。

## 改版履歴

ドキュメント No.	発行日	ページ		変更内容
		改版前	改版後	
15LD-0165-01J	2015.04.21	－	－	初版発行